

ECOTIVITY作ってみたレポート⑤

提供者の所属:西宮回生病院

提供者の氏名:西田龍一

実施した作業活動

作業活動の名前:ペットボトルスノードーム

この作業活動を選んだ理由:眺めたり転がすことで、気分転換や離床時間の延長、動機付けに使用できると考えたから

かかった時間:20分

かかった費用:1500円

対象の人数(概ね):2人

作業活動の写真(実施した作業活動の様子と内容がイメージできる写真をください)



工夫したポイント(こだわった点やアレンジしてみた点をご記載ください)

洗濯のりと精製水の比率やラメの量によって、中に入れたビーズ等の滞空時間が変化するため、粘度を調整しながら少しずつ液体を注ぎました。

参加された方の感想(難しかった点・楽しかった点など)

- ・小学生の時にした実験みたいでわくわくする
- ・見てるだけで癒される
- ・会話のきっかけになる、など

試作したOTさんから一言コメント

1人で行っても楽しいですが、グループで行うことで自然と会話が生まれて、他者との交流を促進できる素晴らしい作業活動だと感じています。

注意点としては、比較的認知機能が保たれている方であっても、ペットボトルを容器にしている点から誤飲リスクは高いと考えています。

当初は離床時の楽しみとして提供を検討していましたが、提供はせずに、スタッフ管理が望ましいように思います。

作業活動・自助具班からのコメント

- ・素敵な作品が出来上がって良かったです。
- ・長く楽しむことができる作品ですね。リスクに注意しながら余暇活動で癒しの時間としてもらえるとうれしいです。
- ・ボトルにアレンジしても(シール・テープなど)を貼ってみてもいいですね！
- ・洗濯のりの比重の高いもの・低いもので浮き方を工夫してみるのもいいですね！
- ・認知症等での誤飲予防として飲み口を台座に刺すなど「飲む」印象から遠ざけてみるのも良いかもしれません。
- ・ラメの扱いが難しかったと思います。使い捨てられる敷物(紙等)を使用して頂くと後片付けが楽になると思いました。